

地域連携センターが発行しているニュースレター、今号は『特別編』として、「第4回三大学学生交流課題研究会議」の様子を本事業に参加した法学専攻2年の佐藤楓、歴史文化専攻2年の山本彩乃、地域共創学群1年の越智翔太の3名でレポートします！

第4回 三大学学生交流課題研究会議

本事業は、本学と鹿児島国際大学、松本大学の三大学間による包括連携協定に基づき、国内の地方都市に所在する三大学の学生が、地域や社会的課題についてテーマを設定し、学生間で議論・交流等を行うことを目的としています。年に一度、各大学が持ち回りで会場を担当しており、毎回、会議のまとめとして、学生が討議した内容を方策や提言として発表しています。

テーマ「地域資源のブランド化」in松本大学



【開催日】令和7年9月2日～5日

【開催場所】松本大学

【参加学生数】札幌大学 7人

松本大学 9人

鹿児島国際大学 6人



9/3 ======
フィールドワーク

フィールドワークでは、実際にまちを歩きながら地域の方々と交流し、地域を盛り上げる活動をさまざまな現場を通して見学しました。住民の方々の生の声を聞くことで、地域が抱える課題や、そこに込められた思いを肌で感じることができました。教室での学びだけでは得られないリアルな気づきが多く、学生一人ひとりにとって、地域に向かう姿勢や課題解決への意欲をより一層高める貴重な体験となりました。

9/4 ======
グループディスカッション・成果発表

グループディスカッションでは、各大学の学生がそれぞれの地域での経験や考えを持ち寄り、地域を盛り上げる活動を課題や新たなアイデアについて活発に意見を交わしました。初めて出会う仲間との交流を通して多様な価値観に触れ、自分たちの地域を見つめ直す貴重な時間となりました。

最終日の発表では、議論を重ねてまとめた提案を各グループが発表し、地域の未来に向けた想いを自分たちの言葉で伝えました。緊張の中にも達成感があり、学びを形にする充実した機会となりました。

学生のフィードバック

「ブランド構築の過程について」

英語専攻2年 石垣 蓮

歴史文化専攻2年 山本 彩乃

三大学の連携事業に初めて参加し、他大学の学生の方々と関わりながら活動する中で、特に協調性を高める大きな機会となりました。

ほぼ初対面のメンバーと一緒に3日間にわたり探究的な学びに取り組むという経験はこれまであまりなく、この取り組みを通して、他者との意思疎通やコミュニケーションの重要性を改めて実感しました。

今回得た学びを活かし、今後の活動において自分自身の成長につなげていきたいと考えています。

「効果的な地域資源のPR方法について」

経営学専攻4年 山館 奈央子

経済学専攻3年 田中 明生

地域共創学群1年 越智 翔太

今回のプログラムでは、他大学の学生や地域の皆さんと交流する中で、多様な考え方や価値観に触れ、自身の視野を広げる貴重な機会となりました。

チームで協力して課題に取り組む過程では多くの学びや刺激があり、人とのつながりの重要性を改めて感じました。

今後も今回の経験を糧に、さまざまな課題に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

「三地域の特性を生かした商品の提案について」

法学専攻2年 佐藤 楓

歴史文化専攻2年 伊藤 瑞葵

今回のプログラムでは、多くの人と関わり、さまざまな考え方や価値観に触れる貴重な機会となりました。初めての場で不安もありましたが、他大学の学生と意見を交わすことで新しい視点を得られ、自分の成長を感じました。

特におやき村を訪れた際には、村長さんと直接お話しし一緒に時間を過ごすことで、世代を超えた創造的な考え方につれることができました。その経験を通して、人とのつながりの大切さを改めて実感しました。これからは、この経験で得た学びやつながりを大切にし、より積極的に挑戦していきたいです。

